



# つばさっ子

## 2012年 5 月号



### 5 月の行事予定



11 日 (金) 午後 6 : 30 ~ 18 : 30

ぞう懇談会

18 日 (金)

お誕生日会

19 日 (土) 午前 9:30 ~ 11 : 30

**親子まつり** ※親子まつりとは・・・年間通して唯一 0 ~ 5 歳児まで全クラス集合の行事。保育士と保護者と一緒に親子ペアの競技などを考えて行い、クラスの親睦を深め競技を楽しみます

※詳しくは「親子まつり News」を発行

20 日 (日) 午前 10:00 開演

『アトム寄席』 場所：アトム共同保育園

21 日 (月)

きりん・ぞう遠足 (雨天決行) **お弁当が必要です**

24 日 (木)

尿、ぎょう虫検査 (配布日)

検査用紙の使用方法がわからない方は担任に聞いて下さい。

25 日 (金) 午後 6 : 30 ~ 18 : 30

うさぎ・ぱんだ合同懇談会

26 日 (土) 午前 9 : 00 ~ 11 : 00

ひよこ懇談会 + (離乳食講習会)

28 日 (月)・29 日 (火)

尿、ぎょう虫検査 (提出日)

**\*忘れずに必ず提出して下さい。**



### 4/29(日)開園式典を行いました



天気にも恵まれ爽やかな風を感じるつばさホールで 83 名の出席者で無事開園式典を終えることができました。ホールは豪華なランの花、大きな花かごに囲まれ、テーブルには可愛い盛り花が置かれとても華やかな会場となりました。保護者の方たちには開園後約 1 ヶ月経験しての施設に関する感想や子どもたちの様子をコメントしていただき参加者の方たちには様子が理解していただけたかと思えます。休日にもかかわらず参加していただきましてありがとうございました。出席者名簿や当日の挨拶文も載せていますので是非読んでみてください。



## ご 挨拶

社会福祉法人アトム共同福祉会

理事長 市原 悟子

本日つばさ共同保育園の開園式典に公私ご多忙のところ、中西町長をはじめ関係各位、機関、団体地域の皆様方のご臨席をいただき有り難く厚くお礼申し上げます。

つばさ共同保育園の設立の経緯、運営・保育の基本的考え方のご報告を含めご挨拶をさせていただきます。

つばさ共同保育園は、社会福祉法人アトム共同福祉会が運営する二園目の保育所でございます。第一園目のアトム共同保育園は、旧町立第6保育所の土地、建物を無償貸与されての開園であり、大規模な修理補修を重ねながらの9年間でありましたので、新築開園ということが、なんといつでも運営上、保育上一番の安心でございます。(アトム共同保育園、開園時の夏は大型台風に見舞われ、天井から滝のような雨漏り、給食で電気器具を使うたびにブレーカーが落ち右往左往、200名の子どもと大人が毎日使用するトイレが詰まることも度々でした。これまで園舎の修繕に約2000万を要しました)

つばさ共同保育園の園舎の特色をお伝えしたいと思います。

一つ目は和む空間作りです。木材を基調とし、照明器具、照度にも工夫しました。長時間過ごす子どもたちが安心できる空間、職員にとっても緊張感が少しでも緩和できる空間を考えました。子どもの成長に伴い部屋の使い方を変えることができるように3グループの保育室とし、それぞれの保育室は遊び、食事、午睡室と機能を分けて使うことができます。園庭も同様に各グループに隣接し、特に0、1歳児が使用する園庭は保育室からも見える中庭に作りました。

二つ目には地域の人との交流室「ふれあいルーム」を設けたことです。

大人同士の関係をつくることが地域をつくることだと考えております。他人の家で食事をするとか、気軽に他人の家に立ち寄っておしゃべりすることができにくい時代です。そんなかつての風景が、多くの人たちの記憶からも忘れ去られようとしています。

東日本大震災後、あらためて「絆」の大切さが自覚されています。ニュータウンという環境は、もともと「絆」を持たない住民の集まりだと思います。私は、熊取町における旧アトム共同保育所、アトム共同保育園を含めた約40年の保育士経験から、保育園は、ニュータウンにおけるまちづくりにお役に立てると確信しております。

「子どもは地域の宝」として地域みんなで育てていたかつての日本の地域の風景。沢山の大人に育てられた子どもには、自分が大切にされたという実感が心の奥に残り、他人も大切にできる大人になるのだと思います。そして地域、社会を担うという自覚をもった大人に育っていくでしょう。

ニュータウンであるつばさが丘というまちに、多くの大人たちが、子どもを大人に育て、その大人が、また子どもを育てるという循環を生み出すために、このつばさ共同保育園、そしてその象徴的施設としての「ふれあいルーム」を活用していただければと考えております。

三つ目には環境問題を考えて、屋上緑化、太陽光発電、空気循環装置、シーリングファン、雨水タンクを設置しております。

このすばらしい園舎で日々行なわれている保育の特徴をお伝えします。一つ目に「ヒトから人間へ育てる」ことを重要視していることです。人間に育てるとは簡単に言えば「人は一人では生きられない」ことの自覚です。

就学前にそれはどのような内容かと言えば他人と自分は違うということの自覚ができることです。子どもは自分と他人が違うということがわかりません。自分の思っていることはわかってくれているものという勝手な思い込みからのケンカが多いです。ケンカの原因も実は当事者同士でもわからないことが多いのです。ケンカを引き起こしている気持ちを伝える手段をもたないか

\*\*\*\*\*  
\* らです。身振り、手振り、時には暴力的な表現で気持ちをぶつからせますが年齢が上になるにつ\*  
\* れ自分の気持ちを表現できる言葉を獲得していきます。\*  
\* コミュニケーション能力は、日々の生活の中での感情の交差、トラブルの経験のなかから身に\*  
\* ついていくのです。怒りの気持ち、悲しい気持ち、うれしい気持ちなどを伝え合い自分と他人が\*  
\* 違うことを認識していくのです。\*  
\* そして自分を理解してもらえた安心感は他人を理解してあげることにつながっていくと思い\*  
\* ます。人生の最初の6年間に、このような他者との関係づくりの体験をすることは、思春期・青\*  
\* 年期において自分の気持ちを言語化できない苦しみや誰にも分かってもらえない絶望感に陥る\*  
\* ことをなくすことができるのだと思います。\*  
\* 二つ目に大切することは、子どもたちに、自分自身のもつ意欲を気づかせ育てる活動です。子\*  
\* ども自身がこの遊びをしたい、この遊びはしたくないと自分で選別できることの重要性を強調し\*  
\* たいと思います。子どもが興味をもつことは、ほんとうに多彩です。個性的です。虫や植物など\*  
\* 自然に興味をもつ、機械的な動きに興味をもつ、音に興味をもつ、体を動かすことを喜びとする\*  
\* など、子どもはみな、大人に強いられなくても、また賞賛されなくても、子ども自身のなかに個\*  
\* 性的な意欲を秘めています。それを大切にすること、これが現在の困難な時代にあっても、自分\*  
\* 自身の幸せを求める「火種」(服部祥子教授)を育てることだと思います。\*  
\* 「好きなことだけをさせているとわがまま勝手な子どもに育つ」「みんなと一緒にできない協\*  
\* 調性のない子どもでは心配だ」とよく言われます。しかしかつて、50年前、60年前の子ども\*  
\* たちは自分たちで好きな遊びを好きな時間にする自由があったと思いますが、わがままな大人は\*  
\* かりが育ったわけではないと思います。私自身の子どもの時代を思い起こしても同様です。\*  
\* かつての子どもは、さまざまな大人の群れ、異年齢の子どもの群れのなかで、ぶつかったり、\*  
\* 抑えられたり、押し返したりするなかで、折り合いをつけて暮らす方法(「協調性」)を身につけ\*  
\* ていったのです。\*  
\* 保育園は、子どもの群れです。子どもの意欲を育てるために個々の意欲に沿い、個性を自覚し、\*  
\* 相互の個性を尊重する関係を育てますが、群れを構成するひとりひとりが、どうすればともに心\*  
\* 地よい時間、共同の生活を作れるかを子どもたち自身に考えさせ、子どもたちがお互いに納得で\*  
\* きる関係、時間、空間を作り出せるようにしていきます。これは、子どもたちにとって厳しい時\*  
\* 間であり、このなかで自分と友達との折り合い(「協調性」)をつけることを学んでいくのです。\*  
\* 子どものことは子どもに決定させる。大人の管理で大人の思いどおりに子どもを操作すること\*  
\* が一番良くないことを、ここで働く保育士は自覚しながら保育をしています。\*  
\* 三つ目に安心、安全なバランスの良い食事の提供です。\*  
\* なるべく添加物の少ない食材、季節の野菜、新鮮な国産の肉(牛肉は使用ません)、出汁は昆\*  
\* 布、鰹節などからとっております(化学調味料は使用していません)。\*  
\* 子どもの残食や人気メニュー、不人気メニューのアンケートをとり調理方法を改善、または献\*  
\* 立に反映させます。最近料理苦手な若い親たちも増えてきておりますので離乳食講習会や給食試\*  
\* 食会も予定しております。\*  
\* 四つ目に大人同士(親、職員)の助け合い、学びあいを重要視します。\*  
\* 子どもは、すでにふれましたように、日々多くの体験をして成長していきます。しかし、大人\*  
\* はなかなか子どものようには順調に成長できません。大人は、しばしば自分の経験したことを常\*  
\* 識と思い、一般的なことと錯覚し、その判断で、自分が経験していないことが生ずると、当然の\*  
\* ように違和感をもち、一方的に他者を非難することも、現代ではしばしばです。\*  
\* しかし各自の物差しは、経験の違い、育ちの環境の違いで異なるのです。その違いをお互いに\*  
\* 理解するためには、違和感があつたとき、またトラブルが生じるごとに、なぜ違ったのかどこが\*  
\* 違ったのかということを、話し合う以外に解決の道はありません。\*  
\* 子育ての方法、子ども理解の仕方、園への要望などなど親と職員が、親同士が、また職員同士\*  
\* が、面倒だけれど話し合いを持たなければ、自分の言い分の言いたい放題の大人集団になり、職\*  
\* 員と親、親同士、職員同士がいがみあい子どもをとりまく園の空気は最悪になるでしょう。建物\*  
\*\*\*\*\*

\*\*\*\*\*  
は立派でも中身が最悪になることを防ぐために『トラブルは自己紹介』という言葉を含いことば  
に、トラブルごとに理解が進むよう話し合いを進めていきます。個人懇談・クラス懇談会はその  
為の場です。職員会議も、アトム共同保育園の蓄積を引き継ぎ重視します。以上が保育内容の特  
徴です。

最近のできごとをお伝えします。3月下旬に早速地域の親子連れがふれあいルームを見学に  
来ました。開園後、連日「園庭開放」に多くの親子連れが訪れています。園庭で園児と一緒に遊  
ぶ子どもを広い軒下にお母さんたちが座ってみている風景は私の予想通りでした。「よその子も  
わが子もいっしょ」、そんな感覚がきっと親たちの中に育ってくれると期待しております。一時  
保育も毎日のように利用者があります。利用理由は親の通院、入院、突発的な仕事などつばさ地  
域の核家族を反映しております。

見学者もすでに多く訪れております。「こんなくつろげる園舎初めてです」「ユニークな作りで  
すね」とお褒めの言葉をいただきます。

このようなすばらしい園舎を設計するうえで、株式会社ヴァンズの矢和男さんは、半年以上、  
毎週2,3時間にわたりアトム共同保育園の職員の議論に加わり、夢や希望に耳を傾け、そのた  
びに新たな設計図を描いてくださいました。また経験に基づく私たちとは異なった発想、アイデ  
アを提供してくださいました。改めて深く感謝申し上げます。

このきびしい経済状況のなか、保育園建設を引き受けていただき、私たちの夢とアイデアを形  
にいただいた株式会社旭工建様にも感謝を申し上げます、とりわけ現場責任者の東さん、引  
地さんには、深い感謝を申し上げたいと思います。地鎮祭後長期にわたる雨天の為着工が遅れ、  
予想外に地盤が岩石ばかりという難問題にぶつかり、土壌整備に時間がかかるというアクシデン  
ト、その後の何個も通り過ぎる台風があり、予定どおりに進まずその遅れを取り返すために日曜  
日も、時には夜遅くまでの作業本当に大変だったと思います。週1回の打ち合わせの際もいつも  
こちらの注文に丁寧に耳を傾け、尊重していただきながら、専門家としての新しいアイデアを出  
していただきました。そのお仕事ぶりのなかから、私たちはプロの仕事とはこの姿勢なのだと多  
くを学ばせていただきました。

最後に今日無事に開園式典を迎えることができましたことは、地域の方たちとりわけ近隣の皆  
様方のご協力があればこそだと思います。工事期間中には大変なご迷惑をおかけしたと思います  
工事過程をあたたく、見守っていただき今日を迎えることができました。本当にありがとうござ  
いました。感謝申し上げます。

最後に本日ご臨席いただきましたお一人お一人に対し、心からのお礼を申し上げます。これか  
らも試行錯誤するであろう、つばさ共同保育園の歩み、とくに次代を担う若い職員に深いご理解  
と厚いご支援をいただきますようお願い申し上げます。本日はまことに  
ありがとうございました。

\*\*\*\*\*



## おねがい



アトム時代は職員会議を土曜日の 4 時間使って行っていましたが保育と並行で行うために全職員揃うことが不可能でした。意思疎通を図るためには全職員が揃うことが重要です。つばさでは子どもたちの午睡時間を利用してグループごとに会議をもち、平日の夕方 2 時間を使って全職員揃っての会議を行います。職員会議は最重要ポイントです。是非ご協力をお願い致します。

定例で毎月 第 3 火・水・木曜

グループ会議午後 1:30～3:30

火 曜 日 ( 0 ・ 1 歳 ) ・ 水 曜 ( 2 ・ 3 歳 ) ・ 木 曜 ( 4 ・ 5 歳 )  
その日の日報には生活リズムのみの記載となります。ご了承ください。

定例で第 4 木曜日

全職員の参加の職員会議午後 6:30～8:30

できるだけ早くお迎えに来て頂けますようご協力をよろしくお願い致します。



## ウレシイお知らせ



みなさん、園庭から見える場所に大きな外用時計が付いたのをお気づきでしょうか？これは、『アトム共同保育園』の卒園家庭有志 33 家庭が寄付してくださったものです。つばさ共同保育園開園に伴い、保育園に通う子どもたちと職員に役立つものをということで園に必要なものを問い合わせ下さり、プレゼントして下さいました。また、開園式典に大きな花かごと給食室裏のスロープの周りにできる予定のハーブ園の苗もプレゼントしていただきました。たくさんのご縁のある方々が私たちを支え、見守って下さっています。



## 「家族の似顔絵展」に参加します



～イオンモールりんくう泉南にて展示されます～

4 歳 (きりん) ・ 5 歳児 (ぞう) の参加で 6/2 (土) ～6/17 (日) にイオンりんくう泉南にて展示されます。父の日のイベントですが、母の日イベントに参加はしないので「家族の似顔絵」としてつばさ共同保育園は参加します。

※掲示作品には、子どもの氏名・園名などが表示されますので予めご了承ください。